

# つながりのまちづくりフォーラム 2015 次の一手が見えてくる!

自治会町内会と地域の中のさまざまな市民活動団体・行政・企業や大学がつながることで、地域の課題を継続的に解決している事例を学び合います。

これからの「まちづくり」や「協働」を、さらに実りあるものに進化させる「考え方」や「手法」など、活動のヒントを得る機会として、ぜひご参加ください。

● 開催日：平成 27 年 3 月 17 日（火）18：00～20：45（開場 17：00）

★ 17：00 より、受付横のホワイエにて「つながる」「広がる」情報交換掲示板や団体紹介ブースを開設しています!!

● 会場：横浜情報文化センター 6F ホール（みなとみらい線 日本大通り駅直結）

● 対象：市民 NPO 企業 大学 行政 関心のある方

● 定員：先着 200 名 事前申込制 参加費無料

● テーマ：「未来を予見し、つながりのまちづくりへ」

● 内容：

18：00 開 会：○司会：横浜市市民活動支援センター 責任者 吉原 明香

18：05 コンセプトスピーチ：「未来を予見し、つながりのまちづくりに取り組もう」

○産業能率大学 経営学部 准教授 中島 智人 氏  
\*非営利組織と自治体・企業との協働、社会政策・公共経営における非営利組織の役割等を研究

18：10 実践報告 1：「つながって、子どもや親世代の活躍の場を地域に多様につくることを実現」

○港南区玉興町内会 会長 間宮 一彦 氏  
○芹が谷コミュニティととと 代表 植木 美子 氏  
○実践報告 1.2.3. インタビュアー：NPO 法人横浜プランナーズネットワーク 山路 清貴 氏  
\*一級建築士、まちづくりコーディネーター（横浜の地域まちづくりの取組みに広く関わる）

18：40 実践報告 2：「つながって、高齢者泣かせの坂道・狭い道にコミバスの定期運行を実現」

○コミュニティバス「四季めぐり号」運行委員会 委員長（旭区四季美台町内会会長） 和田 孝 氏  
○二重交通株式会社 代表取締役 篠崎 智雄 氏

19：10 実践報告 3：「つながって、地域づくりの交流拠点“見守りの家”公園内設置を実現」

○瀬谷区阿久和北部見守り合いネットワーク実行委員会委員長（阿久和北部地区社会福祉協議会会長） 清水 靖枝 氏  
○前瀬谷区役所阿久和北部地区担当 田野井 敏行 氏

19：40 報告のまとめ：○NPO 法人横浜プランナーズネットワーク 山路 清貴 氏

19：55 講演：「人を助け、人に助けられる自治会でありたい」

○東京都立川市大山自治会 会長 佐藤 良子 氏

20：35 クロージングスピーチ：「解決策はきっとある」

○産業能率大学 経営学部 准教授 中島 智人 氏

20：45 閉 会



主催

横浜市 Yokohama Citizens  
Empowerment Center  
市民活動支援センター  
横浜市（政策局 市民局 健康福祉局 都市整備局）

お問い合わせ

横浜市市民活動支援センター  
〒231-0062 横浜市中区桜木町 1-1-56  
みなとみらい 21 クリーンセンタービル 5 階  
Tel：045-223-2666 Fax：045-223-2888  
E-mail：daihyo@hamacen.jp  
https://opencity.jp/yokohama/

共催

NPO 法人横浜プランナーズネットワーク  
認定 NPO 法人市民セクターよこはま

協力

NPO 法人横浜スタンダード推進協議会

## 実践報告・講演内容

## 実践報告1：「つながって、子どもや親世代の活躍の場を地域に多様につくることを実現」

- 港南区玉興町内会 会長 間宮 一彦 氏
- 芹が谷コミュニティでととと 代表 植木 美子 氏

「芹が谷コミュニティでととと」は、子どもを持つ母親が中心となり、地域での人と人とのつながりづくりを目指すために平成23年12月に立ち上げたグループです。親子の遊び場の「てとととひろば」などを定期開催し、地域の誰もがフラッと寄れる居場所づくりを目指して活動しています。玉興町内会では、子ども会を卒業した中高生を青少年部の一員として迎え、若い世代が地域との交流を継続的に持てるように活躍の場を意識的に創っていることもあり、町内会と「てととと」が連携し、地域みんなの「活躍の場づくり」を実践しています。

## 実践報告2：「つながって、高齢者泣かせの坂道・狭い道にコミバスの定期運行を実現」

- コミュニティバス「四季めぐり号」運行委員会 委員長 和田 孝 氏
- 二重交通株式会社 代表取締役 篠崎 智雄 氏

旭区四季見台・今川町・本村町地区は急な坂道や狭い道路が多く、高齢者の外出に影響があることから、地域まちづくり支援制度や地域交通サポート事業を活用し、複数の自治会が連携して検討委員会を立ち上げました。その後検討を進め、二重交通の理解と決断を得ることで、平成25年4月よりコミュニティバス「四季めぐり号」の本格運行を開始。現在も利用者数アップを目指し、まちづくりコーディネーターを新たに活用し、地域と企業の双方が主体的に地道な努力を積み重ねています。

## 実践報告3：「つながって、地域づくりの交流拠点“見守りの家”公園内設置を実現」

- 瀬谷区阿久和北部見守り合いネットワーク実行委員会 委員長 清水 靖枝 氏
- 前瀬谷区役所阿久和北部地区担当 田野井 敏行 氏

「見守りの家」は、高齢化が進み、住民が互に見守り合う地域づくりを進めるために公園内に設置された交流拠点です。（平成23年度ヨコハマ市民まち普請整備事業）公園内に福祉など様々な要素を含んだ拠点を建設することは前例がなく、行政の様々な部署との調整が必要でしたが、粘り強く交渉、話し合いを進め、地域と行政が力を合わせることで実現に至りました。家は、北欧からログハウスの部材キットを輸入し、基礎工事を除く建屋の建築作業の全てを地域住民で行いました。また、運営も地域住民が行っています。

## 講演：「人を助け、人に助けられる自治会でありたい」

- 東京都立川市大山自治会 会長 佐藤 良子 氏

立川市大山自治会は、住民のニーズに合わせ、「人が人にやさしいまち、必要とされる自治会」「ゆりかごから墓場まで」をモットーとし、向こう三軒両隣を基本としたコミュニティづくりを行っています。

自治会加入率100%（約4,000人、1,600世帯）、孤独死ゼロ（町内高齢化率約30%）を実現するなど24時間体制で安心できるまちづくりを進めるだけでなく、行政や企業へ働きかけての課題解決、大学生ボランティアとのホームステイによる交流など、発想豊かに「つなりのまちづくり」を実現しています。

※お申込みは下記のFAX申込書またはE-mailのいずれかでお申込みください。定員に達し次第締切りとなります。

※定員に達した際には当センターホームページでお知らせします。参加決定通知はお送りいたしませんので、当日、直接会場へお越しください。

**FAX 申込書 (045-223-2888) E-mail:daihyo@hamacen.jp**

横浜市市民活動支援センター 行

月 日

氏名	所属先	連絡先（いずれかご記入ください）
		E-mail @
		Tel・Fax
		E-mail @
		Tel・Fax

\*ご提供いただいた個人情報は本フォーラムに関するお申し込みの受付・連絡のみに使用させていただきます。